

網走市港湾整備事業経営戦略

団 体 名 : 北海道網走市

事 業 名 : 網走市港湾整備事業

策 定 日 : 令和 8 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 8 年度 ~ 令和 17 年度

※複数の港湾を有する事業にあっては、港湾ごとの状況が分かるよう記載すること。

1. 事業概要

(1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用)の区分	非適	事業開始年月日	昭和41年4月1日
職員数	1 人	港 湾 区 分 (重 要 港 湾 等)	重要港湾
民間活用の状況	ア 民間委託	該当なし	
	イ 指定管理者制度	該当なし	
	ウ PPP・PFI	該当なし	

(2) 使用料体系

※施設区分の中で複数の使用料体系がある場合には、それぞれの内容を分けて記載すること。

施設区分			現行(a)	前回(b)	改定率		前々回(c)	改定率	
	使用料区分		(H26年改正)	(H12年改正)	(a/b)%		(H10年改正)	(b/c)%	
用地 (一般)	舗装	1㎡につき1日までごとに	5円	5円	-	%	-	-	%
	未舗装	1㎡につき1日までごとに	3円	3円	-	%	-	-	%
用地 (専用)	舗装	1㎡につき1月までごとに	120円	120円	-	%	100円	120	%
	未舗装	1㎡につき1月までごとに	60円	60円	-	%	50円	120	%
用地 (その他)	地上	1㎡につき1月までごとに	40円	40円	-	%	34円	118	%
	地下	1㎡につき1月までごとに	20円	20円	-	%	16円	125	%
	架空	1㎡につき1月までごとに	20円	20円	-	%	16円	125	%
上屋	一般	貨物搬入の日から15日目まで 1㎡につき1月までごとに	9円	9円	-	%	8円	113	%
		貨物搬入の日から16日目以降 1㎡につき1月までごとに	14円	14円	-	%	12円	117	%
	専用	1㎡につき1月までごとに	300円	300円	-	%	250円	120	%
	旅客	1㎡につき1月までごとに	505円	505円	-	%	470円	107	%
船舶給水施設		1トンにつき	466円	430円	108	%	430円	-	%

※各項目の単位を明記すること

(3) 現在の経営状況

年間取扱貨物量 ※過去3年度分を記載	R6	404,816トン	R5	372,526トン	R4	444,047トン
年間船舶乗降旅客数 ※過去3年度分を記載	R6	139,990人	R5	127,362人	R4	70,822人
年間使用料収入額 (税込み) ※過去3年度分を記載	R6	51,641千円	R5	48,901千円	R4	56,144千円
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	R6	3.8	R5	4.5	R4	3.5
経費回収率 ※過去3年度分を記載	R6	3.8	R5	4.5	R4	3.5

【上記の収益、資産等の状況を踏まえた現在の経営状況の分析】

単年度黒字は35百万円程度で推移しており、平成29年度には累積赤字が解消され黒字に転換していることもあり、健全な経営を行うことができています。

2. 将来の事業環境

(1) 取扱貨物量等の見通し

年間取扱貨物量については例年40万トン程度で推移しており、今後も同様の見通し。
また、背後圏の需要の動向等を分析し、ポートセールス等を通じて取扱貨物量の増加を目指す方針。

(2) 使用料収入の見通し

用地使用料について、今後も同様の見通し。
また、近年は資金不足が発生しておらず、安定した運営が行えていることから、当面の間料金改定は行わない方針である。

(3) 施設の見通し

老朽化が進んでおり、計画的に維持管理を行っていく必要がある。

3. 経営の基本方針

累積赤字が解消され健全な経営が行われているものの、上屋等港湾施設の老朽化が進んでいることから、今後も計画的に維持管理を行っていく必要がある。
また、安定した収入を得るため、背後圏の需要の動向等を分析し、ポートセールス等を通じながら施設の利用を促進する。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり

5. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	令和17年度までの経営戦略を策定しているが、期間終了前に使用料体系の変更等があった場合は適宜経営戦略の更新及び見直しを行う。
---------------------	--

